

1. 学生への支援体制

(1) 進路・就職に関する支援体制

就職指導について

○希望に沿った事業所の選択 ○履歴書の書き方 ○就職試験及び面談

進路については、本人の希望を十分に尊重します。そして、その進路に進めることを目指します。卒業時には、進路が決まっている支援を実施しています。

1年次：介護福祉士が活躍している職場を見学及び体験することにより、キャリアデザインの基本を築く。

4月：施設見学（高齢者）

6月：秋草学園福祉教育学校就職相談会

介護実習（在宅サービス）

介護実習の振り返り

8月：施設等でのボランティア体験

11月：介護実習（在宅サービス）

介護実習の振り返り

3月：終業式

2年次：1年での体験を基に就職活動につなげる。

4月：就職に向けての活動のオリエンテーション

5月：施設見学（障害者）

6月：秋草学園福祉教育学校就職相談会

特別講義（地域福祉関係）

7月：就職活動の準備

8月：介護実習（施設サービス）

9月：介護実習の振り返り

個別面談及び相談開始～

10月：情報交換会

10月～2月就職未内定者、進路未定者の個別指導

(2) 学生相談の体制

学生の相談は、担任制度を取り入れていることから基本的にクラス担任が対応します。内容によっては、学年や学校全体で情報を共有しながら課題解決を目指します。個別面談の時間は十分につくり丁寧に対応しています。

(3) 学生の諸問題への対応

① 生活への支援

学べる環境充実したものにするために、欠席・遅刻・早退などの出席状況などをしっかりと把握し、生活の変化があった時には個別面談などを実施しています。

② 保護者との連携

学校生活を充実したものとするために、必要に応じて保護者とも連携をとっています。学生と個別面談及び保護者との三者面談も実施しています。卒業を目標に学生、学校、保護者と協力していきます。

③ 健康管理

入学前に問診票を記入します。入学後、健康診断実施しています。健康診断で異常が発見された場合は、質の高い実習が望めるように速やかな受診を勧めています。学内には保健室を設置しており、体調崩した学生は保健室で静養することができます。状態によっては受診を勧める場合があります。

精神的な相談については、基本的にクラス担任が個別相談を実施します。心身の健康管理をに努めています。